

先日のオペラ「トゥーランドット」へのジュニアコーラス出演は、人生の中で素晴らしい体験だったと思います。携わるすべての方々が一つの大きな舞台に向かって真剣に取り組む、その大人の姿を目の当たりにしたこと、業界特有のその日初めて会った相手に対し交わす挨拶が午後でも「おはようございます」であること知ったこと、帰りは「お疲れさま」という言葉が自然に出たこと、そしてたくさんの方々の方々との出会い。指揮者もソリストもアンサンブルも大人も子供も、皆心ひとつに互いを尊敬し助け合って生まれた舞台です。休憩時間に皆に優しい言葉をかけてくれたのも仲間意識の現れです。舞台を観た人たちはとても感動し、私も皆この短い時間の中で大きく成長したなあとしみじみ思ひ涙が出ました。ご家族や団員の中からも「まるで人が変わったよう」「楽しかった！」という感想を聞き大変嬉しく思っています。そして出演直前まで裏で団員たちを熱心に指導し舞台へ送り出してくれた酒井先生、中村先生のご活躍もとても素晴らしかったです。皆やればどんなことでも出来る！という自信を持って、これからもこの舞台で経験したことを思い出してください。

さて、かつて9月15日であった「敬老の日」がハッピーマンデー政策で9月の第3月曜日になって今年からは5連休。シルクウィークと称して大型連休並になり行楽地などは大賑わいでした。ただ、5連休は毎年ではなく、今度は1年後の2026年ということになります。

また、この日発表された百歳以上のお年寄りには61,568人ですが、そのなかで女性が87%を占めているということです。その数は32年前(昭和38年)の統計で153人であった約40倍ということです。そして、80才以上の高齢者もついに1,000万人を越えたと伝えていきます。しかし、長寿、長寿と手放しで喜べない問題も山積しているのです。健康長寿を願っても病を得て床に臥す人、超高齢でホーム生活を余儀なくされる人、またそのご家族等の心労も大変なこととす。私自身シニア真つただ中ですし、高齢者コーラスのお世話などをしていられるとこのような記事が気になります。敬老の日は、他の国にはない国民的行事ですが、1000年位前、聖徳太子が身寄りのないお年寄りを大阪・摂津の四天王寺に悲田院(ひでんいん)を作って介護したのに因んで作ったという説もあり、兵庫県の間谷村の村長と助役の案で「としよりの日」をつくったのに触発された説もあります。

しかし、この敬老の日を前に気象異常があつて激しい雨で思いもよらない鬼怒川が決壊し、亡くなった方、行方不明の方で栃木、茨城は大変でした。テレビは濁流に流された家の屋根や窓で手を振る方や自衛隊や地元や近隣の県のヘリコプターが次々と吊り上げ救助する様子を写していました。

実は数日前NHKのテレビ番組で、火野正平さんが自転車で全国を回る「こころ旅」のなか、徳島県の吉野川の支流のことを地元の人に聞いておりました。やはり江戸時代にカーブの強い所で氾濫し、大きな被害が出た後、阿波藩はその場所の手前から川下に真っ直ぐに海まで支流を掘ったのです。つるはしや当時の工具を使って人の労力で掘るので超長期の工事だったのでしようね。調べてみると、土佐藩の地に雨が降らなくても阿波藩に激しい水が流れることあるのです。松林や竹林を作ったり堤防を築いたり水に閉じては常に心を痛めていたのでしょうか。

中国でも春秋時代から黄河の氾濫で多くの被害がでて「水を治める者は天下



→上右 オペラ トゥーランドット
赤い靴ジュニアコーラス赤隊出演
→上左 国際ジュニア体操競技大会
開会式 横浜市歌 斉唱 赤隊・青隊
↓下 市民ミュージカル レッスン風景
「おさん伝説」スタジオ



今後のスケジュール

10/11 (日) ハローよこはま ★ジャックステージ 横浜公演 10:55~式典 横浜市歌斉唱 ジュニアコーラス赤隊・青隊 11:55~赤隊 合唱 ★クイーンズステージ 日本大通 11:25~ ピバ! スウィング & ミュージカル「空飛ぶ赤い靴」 赤く靴ミュージカル キッズ
10/17 (土) 産業貿易センター ビル前広場 2:30~3:00 神奈川・横浜 住まいの未来展 ミュージカル「空飛ぶ赤い靴」 赤い靴ミュージカルキッズ出演
10/25 東京湾大感謝祭 赤レンガ倉庫前広場 10:00~ ピバ! スウィング & ミュージカル「空飛ぶ赤い靴」 赤い靴ミュージカルキッズ出演
11/5 (木) みなとみらいホール ヴィサン コンサート ザ・シワクチャーズ横浜 出演
11/22 (日) 中区童謡の会 横浜開港記念会館 14時
11/29 (日) 中区合唱祭 横浜開港記念会館 詳細後日 横浜★男声合唱団・ 赤い靴ジュニアコーラス青隊 赤隊有志 あかいくつテンダーフット出演

を治める」等有名な言葉を残しています。日本の川の大暴れのランクは一位が利根川(俗に坂東太郎と言われます)二位に筑紫川(筑紫次郎)三位が吉野川(四国三郎)というのです。今回も利根川が決壊しなくてよかつたなどという人がいました。わが皇太子殿下も治水の研究のオーソリティーとして、太平洋水サミットやスペイン、ロンドンなどで研究の成果について講演もされておられます。さて、9月23日(水)連休が終わる日、横浜市文化会館で国際ジュニア体操競技大会がありました。オリンピックの選手を多数輩出しているこの大会には全日本ジュニア体操競技大会があつて、隔年に国際大会があるのですが、その開会式には大分前から出演させて頂いています。今年も17ヶ国がエントリーし、しのぎを削っておりました。開会式は横浜市歌だけです。青隊も参加して森鷗外作詞の名詞名曲を歌いましたが、式典初舞台の団員も達成感でほほを紅潮させていました。

そして、横浜市民ミュージカルですが、関内ホールが工事中であつたので、今年の1月はお休みでしたが、来春は第10回の記念公演となり、8月公募の市民たち60人でレッスンがスタートしました。

題名は「おさん伝説」はるかなる時をこえてです。その昔、横浜の埋立で脚光を浴びた吉田勤兵衛と日枝神社に纏わる伝説を主体としたものです。神社は通称山王様、山王権現等と言つて、通称「お山王様」と称しておりましたが、お三の伝説でいつしか「お三の宮」になり、現在はバス停の名称にも使われています。幕末から明治にかけて、作家たちが競うようにこれを戯曲にし、文明開化で毎日人口を膨らませる横浜の芝居小屋にかけて大勢の観客を呼んだと言います。いわく下田座、羽衣座、喜楽座、萬座、賑座、相生座など大小20くらい的小屋がありました。それぞれに著名な役者を配し、歌舞伎役者の秋元菊弥をお三にし、センセーションを起こしたりしました。

中でも高島嘉右衛門が作った港座は、ガス燈をふんだんに使った華やかさで多くの観客を呼びました。大正期に入りますと斯波南史(しばなんそう)が横浜貿易新報(現在の神奈川新聞)に「烈女お三」の連載を1915年7月から載せはじめ130回続けたといっています。当時では画期的なこととす。

福島桂子先生の厳しさとユーモア、天野先生の素敵な作曲、打てば響くスタッフたちが皆がワクワクして手ぐすね引いて待っています。とにかく、ドラマの切り口が半端ではなく迫力は多くの人が待ち焦がれています。

2015・9・29 団長 松永 春